

## 【目的】

有限責任中間法人日本臨床矯正歯科医会広報委員会では「歯の衛生週間」にちなんで一般市民が歯並びや矯正歯科治療に対してどのような印象や関心を持っているのかなど意識調査を行った結果を発表した。今回はその中でも、「患者に求められる医院像」に関わる部分について報告する。

## 【資料及び方法】

今回、インターネットを用いて全国一般市民1000人(10代～50代の男女をそれぞれ100人ずつ計1000人)に「歯並びと矯正歯科治療」に関するアンケート調査を実施した。

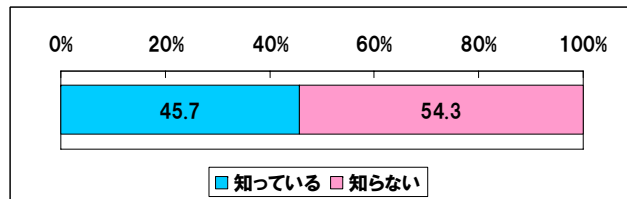
これまでのアンケート調査では、効率や時間、コストなどの問題のため調査対象に偏りがあつたり、調査対象数が少なかったが、パソコンの普及によりインターネットによる全国規模の調査が短期間で可能になった。

## 【結果及び考察】

### ◆ 矯正歯科専門医院の認知度は半数以下

矯正歯科治療を専門に行っている歯科医院の認知度について調査を行ったところ、認知度は45.7%と全体の半数以下という結果となった。

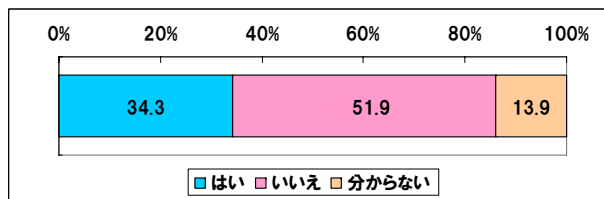
質問:矯正歯科治療のみを専門に行っている歯科医院があることを知っていますか？



### ◆ 矯正歯科専門医院で治療を受けている割合は3割程度

矯正歯科治療を経験している(していた)人々を対象にして、治療を受けた医院が矯正歯科専門医院かどうか調査を行った結果、およそ3割しか専門医院で治療を行っていなかった。更に、13.9%の人が自分が受診した医院が専門医院か、一般歯科医院かどうか分からないと答えた。

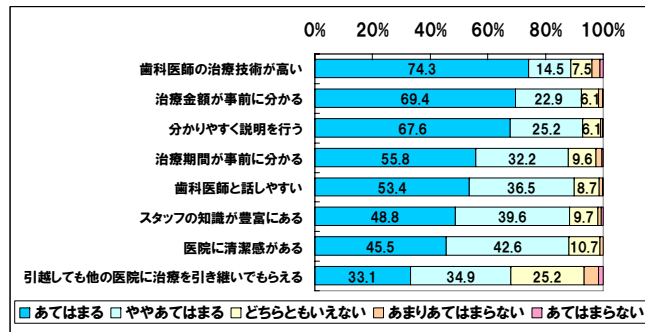
質問:あなたが治療を受けたのは、矯正歯科専門医院ですか？



### ◆ 安心して受診できる医院の基準は、“治療技術の高さ”

矯正歯科治療を経験していない人々を対象に、安心して受診ができる医院の条件を選択して頂いた。「歯科医師の治療技術が高い」を筆頭に、「治療金額が事前に分かる」「分かりやすく説明を行う」と続いた。また、治療が長期にわたることから、「引越しても他の医院に治療を引き継いでもらえる」と、転医制度について選択した方も68.0%と非常に高い割合を示した。

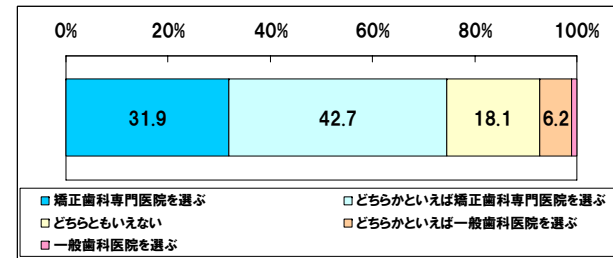
質問:仮に矯正歯科治療を行うとすると、安心して受診できる医院はどのような医院ですか？



### ◆ 治療を受けるなら“専門医院”が8割

矯正歯科専門医院について説明を行った後では、74.6%が治療の際には「矯正歯科専門医院を選ぶ」と回答した。矯正歯科専門医院の認知度が高まれば、専門医院で受診される方が増加することが予想され、より一層の啓発活動の重要性が示唆されている。

質問:矯正歯科治療を受けるとしたら、矯正専門医院と、一般歯科医院と、どちらを選びますか？



今回の、患者に求められる医院像についての調査結果により、矯正歯科専門医院の認知度が半数以下であり、治療経験者のうち34.3%しか専門医院で治療を行っていないことが明らかになった。

しかし、安心して受診できる医院については「歯科医師の治療技術が高い」と回答した割合が74.3%と最も高く、また、治療を受けるなら「矯正歯科専門医院を選ぶ」と回答した割合は74.6%に達し、矯正歯科専門医院に対するニーズは大きいものと考えられる。

## 【結論】

矯正歯科専門医院自体の認知度が低いという事実はありませんが、患者に求められる医院像として、治療技術の高さが大きな割合を占めることが示唆された。このことは、本会のような矯正歯科専門開業医の存在意義を改めて再確認するものである。

今後、日本矯正歯科学会での専門医制度発足にも合わせ、潜在患者に対して、専門医院の存在並びに重要性について正しい知識と情報を提供することが必要である。